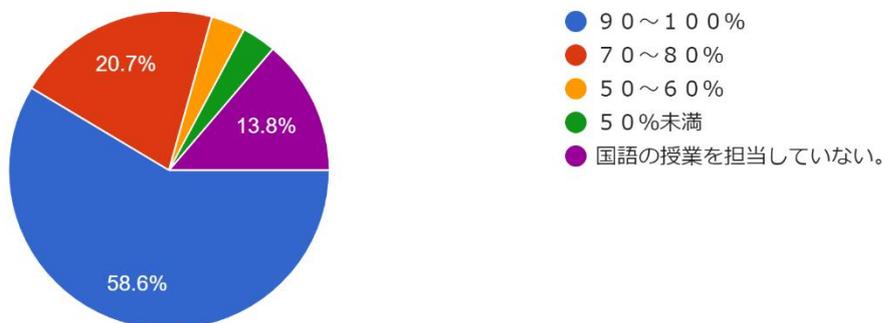


## 重点項目 1：主体的・対話的な深い学びの実現

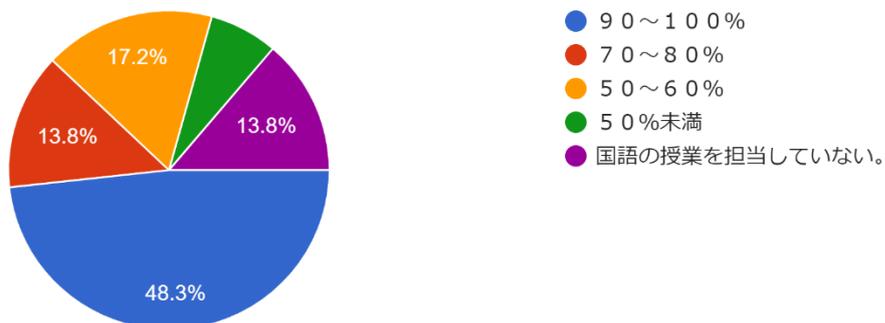
(1) 国語の授業では、つきたい力をつけるための言語活動を通した単元構想をしていますか。

29 件の回答



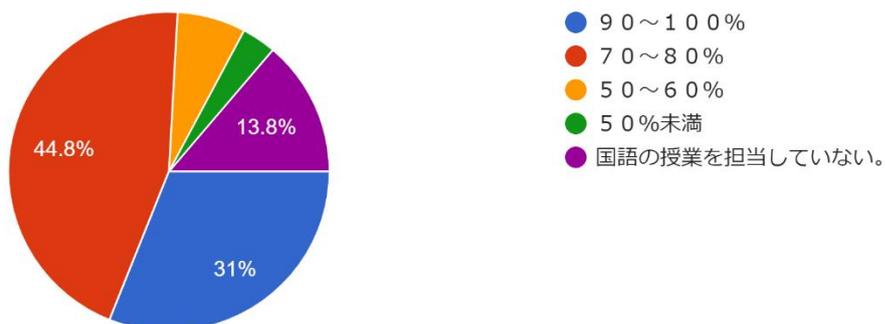
(2) 国語の授業では、単元計画を子どもたちと一...いますか。(教室に掲示、またはノートに貼付)

29 件の回答

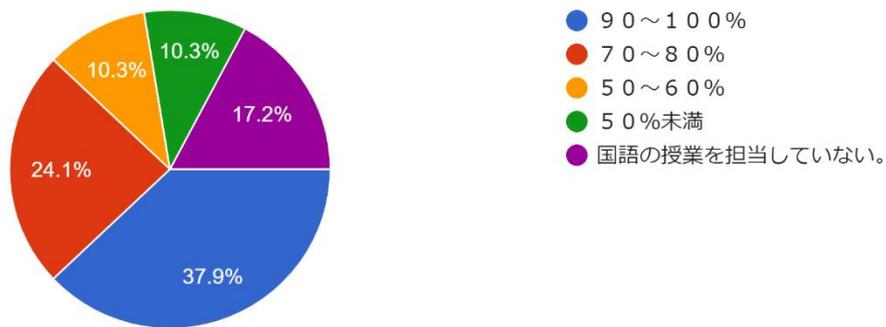


(3) 国語の授業では、子どもたちが深く思考できる発問を研究していますか。(交流の手立て)

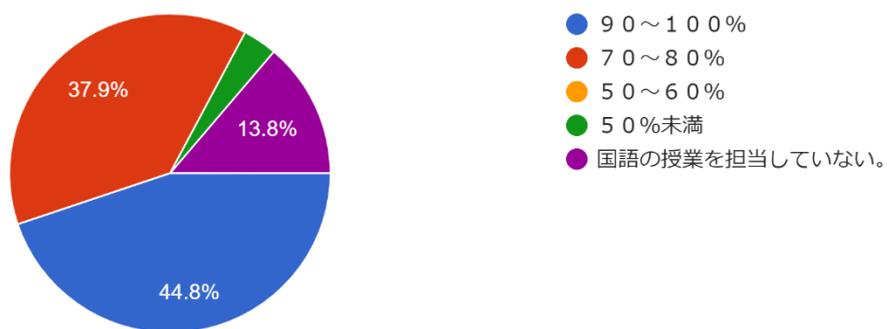
29 件の回答



(4) 国語の授業では、発達段階に応じた「話し合...人への道」をクラスで掲示・指導していますか。  
29件の回答



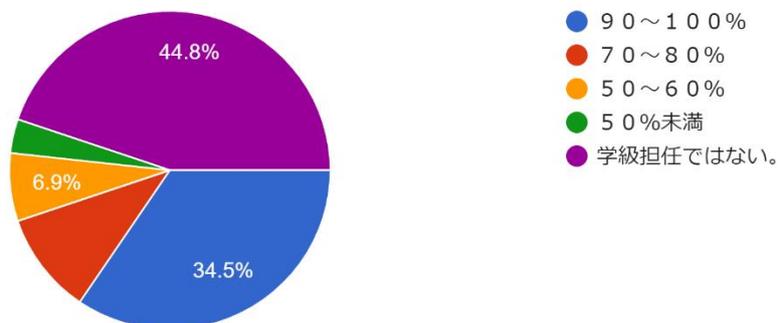
(6) 子どもが作成した大きな言語活動の成果物に対して、評価基準を予め持っていますか。  
29件の回答



## 重点項目 2：基礎・基本の徹底

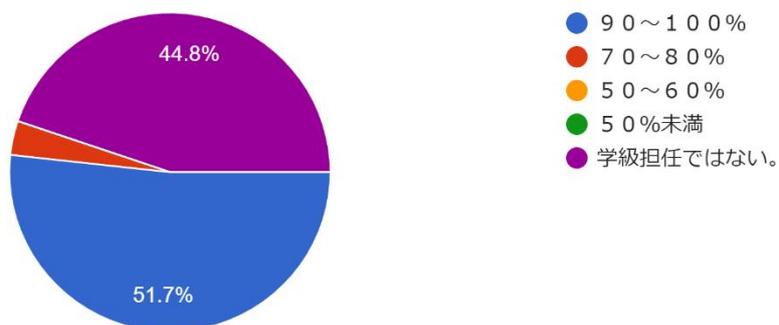
(1) 水曜日の朝学習の時間、(タブレットを使って)漢字の学習をしていますか。

29 件の回答



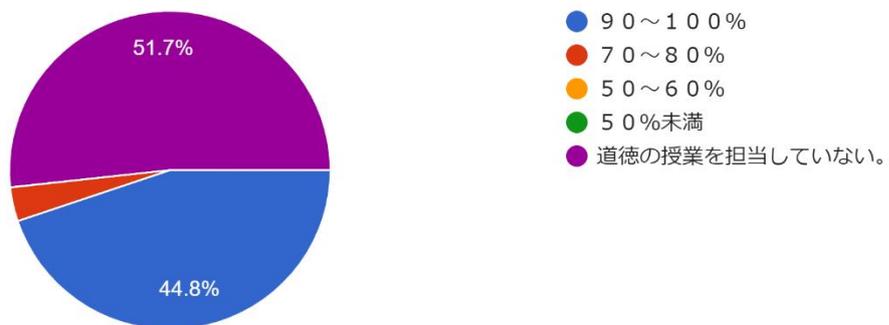
(2) 木曜日の朝学習の時間、読書をしていますか。

29 件の回答



### 重点項目 3：道徳科の推進

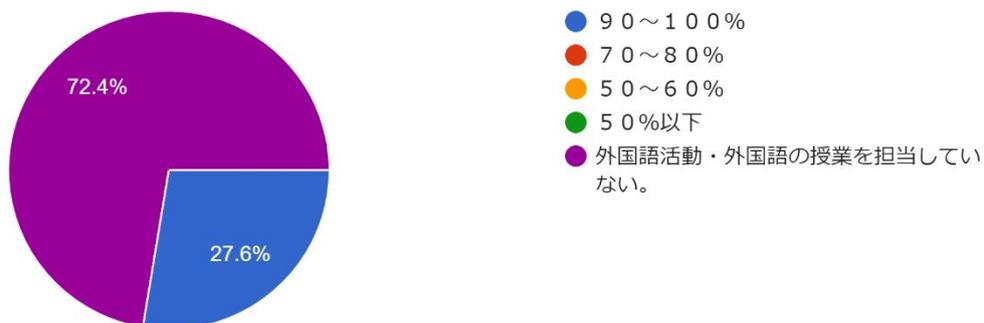
(1) 道徳の授業では、ワークシートを使って、子...もたちの授業の取り組みを積み重ねていますか。  
29 件の回答



## 重点項目 4：外国語教育への取り組み

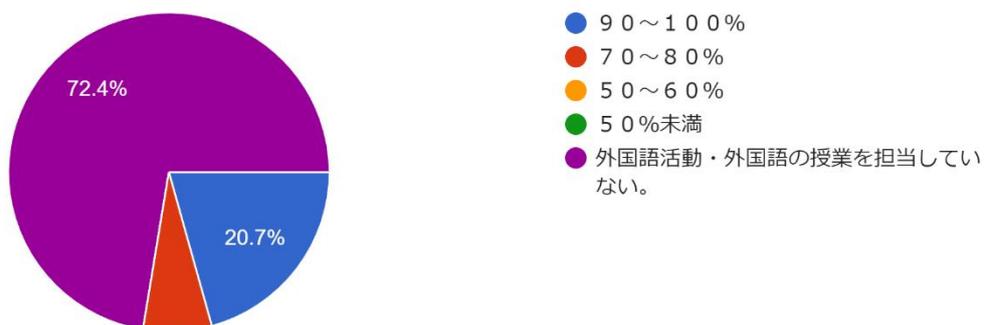
(1) 外国語活動・外国語の授業では、担任がT1として授業を行っていますか。

29 件の回答



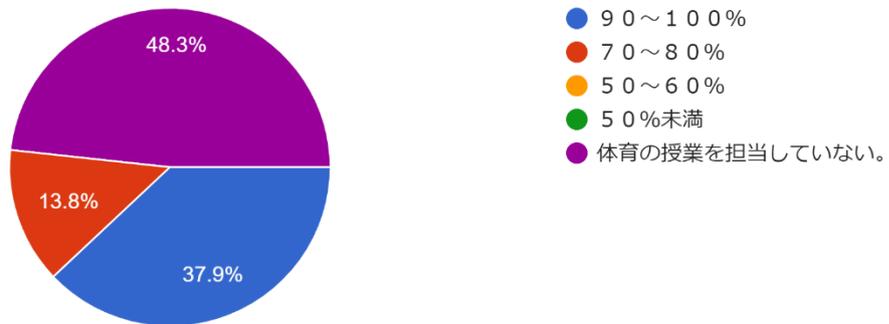
(2) 外国活動・外国語の授業では、会話のやりとりを意識した授業を行っている。

29 件の回答



## 重点項目 5：体力の向上

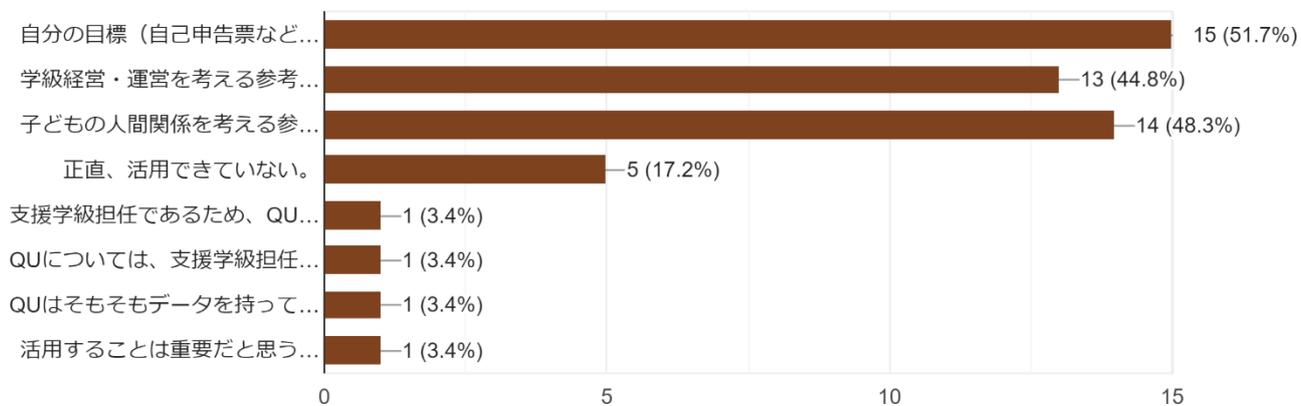
(1) 体育の授業（45分）のうち、30分以上子どもたちが運動する時間を確保していますか。  
29件の回答



## 重点項目 6 : Q~U と学校生活アンケートを活用した学級経営

(1) Q~Uや学校生活アンケートを活用していますか。(複数回答)

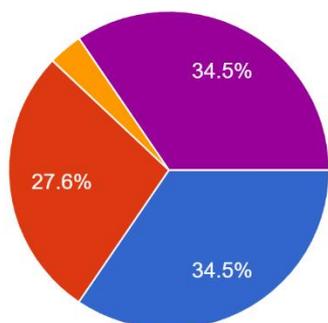
29 件の回答



## 重点項目7：ユニバーサルデザインの教室環境・授業の徹底

(1) 授業中、小黒板のカーテンを閉めていますか。

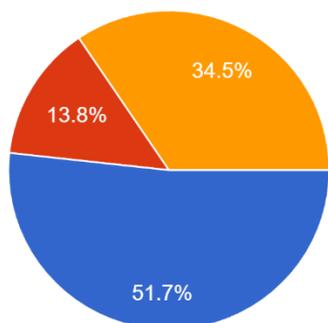
29件の回答



- 90~100%
- 70~80%
- 50~60%
- 50%未満
- 学級担任ではない。

(2) 黒板周りに掲示物はありませんか。

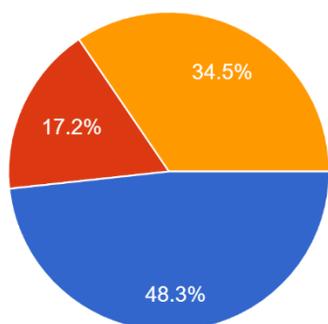
29件の回答



- はい
- いいえ
- 学級担任ではない。

(3) 教室の座席配置は、千鳥形式にしていますか。

29件の回答



- はい
- いいえ
- 学級担任ではない。

(4) (3) で「いいえ」と答えた方に質問します。千鳥形式にしていない理由を教えてください。

優先すべきは児童への支援だからです。

誰とでも互いにサポートできる形を目指しているため、していない。

学級の子どもたちに今の学級に大切な席の形について尋ねました。その際、子どもからは、「誰とでも関われる学級にするためには、くじ引きをし、全てランダムにした方が良い」「誰とでも関われるからこそ、もう席なんてどうでもいい」という意見が出てきました。そのためです。

隣同士での活動や班での活動は、必ずしも男女が良いとは限らず、お互い助け合えるペアで席をきめているため。

人数がおおくて、間隔がとれない。

(5) 日頃、学級などで行っている UD の取り組みを教えてください。

黒板の文字は大きく書く。プリント類は全て UD フォントを使用。

視覚的に分かりやすいように、物の置き場所などを掲示付で決めている。

男女を分けない。評価基準を前の自分に設定している。

視覚支援になるような掲示物の作成

黒板前方の掲示物を減らす。蛍光チョークを使う。など。

・プリント作成時、UD フォントにしている。・板書の字の大きさ、色に配慮している。・掲示場所が限られているため、ホワイトボード横に掲示をしているが、なるべく前にはものを置かないようにしている。・座席の配置を毎時間工夫している。(児童の学年や人数が都度異なるため)

座席配置をその都度変えている。(授業により児童の学年・人数が違うため) 掲示できる場所が限られているため、ホワイトボード横に掲示をしているが、なるべく少なくし、集中しやすい環境づくりに努めている。板書の字の大きさや量、色に配慮している プリントを作成するときには UD フォントで作成している

授業を始める前に、1 時間の学習内容を伝えるようにしている。新しく取り組む学習では、必ず視覚にも訴える手本や見本を示している

前の黒板には何も書かない、貼らない。前の机や給食配膳台にも、授業で使うもの以外は何も置かない。

採点待ちのノートは、後ろのロッカーに置いて、授業中に子どもの視覚に入らないようにしている。色の区別がつきにくい児童がいるので、赤や緑で書くときは UD チョークを使っている。習字など、机の上に道具を置くときは、写真で示している。体操服をかけるところ、エプロンをかけるところなどには、ビニールテープに書いて示している。ほうき、ちりとり、雑巾全てに、使用場所を書いておき、かける場所もテープで指定している。

・板書の字の大きさ、色、量を配慮している。・机大きさや配置を授業ごとに変えている。(授業ごとに児童の学年や人数が異なるため。)・教材を作成する際は、UD フォントを使用している。

掲示物は教室の後ろに集めたり、教師机も後ろにしたりして、前はスッキリさせるようにしている。

掲示物は後ろに貼り付け、前には何も貼らない。具体物をたくさん出し、イラストから考えられるようにする。

・発問や発言しやすい環境作り ・一人一人違って当然なのだという環境作り ・子どもの関係づくり

配膳台をおく位置に印をつけている。など